

## 外国語学習のめやすマスター研修\_2014夏\_事前課題

作成者：松崎真日

学習シナリオ

テーマ:ラジオドラマ製作

レベル:3

実施期間:週1回15週

グループ:4～5人で1グループ

### <場面状況>

大学で韓国語を専攻する3・4年生は韓国語でオリジナルなラジオドラマを制作することにした。クラスのほとんどは1年単位の留学経験はないが、一部の4年生は1年の交換留学経験がある。また韓国からの交換留学生も1名いる。成績は学生同士の作品に対する相互評価の割合が大きいことを予め伝えてある。また、作品は後輩である、1・2年生に聞かせることも案内してある。

### <活動の流れ>

授業は全15回。第1週はグループ分けと、学習管理ソフトmoodleの紹介と登録を行う。最終の第15回は作品鑑賞会にあてる。

第2週は、ラジオドラマについては聞いたことがない学生もいるので、映画『ラジオの時間』を鑑賞し、①シナリオ、②演技、③効果音、④編集という作業があること確認する。

第3週以降は、授業の前半(45分)を使い、韓国のラジオドラマの鑑賞および再現をおこなう。鑑賞を通じて間投詞や語順、話し言葉、イントネーション、発音等の自然さ(流暢さ)に注意を向ける。また、再現を通じてより韓国語らしくセリフを読むことができるよう練習する。

授業の後半(45分)では、グループごとにシナリオの方向性の検討、シナリオ作りが7～8回目までに断続的に行われる。教員は各グループを回りながら質問に答えたり、相談に乗ったりする。なおこの間、毎週moodle上ではグループごとに作業の進行状況を報告したり各メンバーが意見の表明をおこなう。

7～8週目でシナリオの骨格を固める。この後もシナリオは随時修正が入るが、常に最新版をネット上にアップしておき、どこからでもアクセスできるようにする。また、教員のほか周囲の韓国人の助けを得て、シナリオのネイティブチェックを受ける。

8～9週目で、一度いくつかの場面を録音したものをアップする。教員からコメントをつける。

9～10週目以降は、録音作業を通じ、韓国語がセリフとして適切かどうか、例えば書きことば的であるとか、語順が自然ではない、誰が誰に対して発話しているのかわからない、ナレーターによる説明を要する等のシナリオとしての評価を行う。同時に効果音やバックミュージックの選定を行う。

この頃から、効果音やバックミュージックの挿入をはじめとした音声編集の作業を始める。

音声編集ソフトウェアを紹介し、最初の場面にのみ、効果音をつけてみる。

その後、効果音の範囲を拡大し、13週目には作品全体に効果音をつける。

15週目で、完成作を鑑賞し、感想を述べるとともに、相互評価をおこなう。

テーマ: ラジオドラマ制作

	言語領域	文化領域	グローバル社会領域
わかる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国ラジオドラマを鑑賞し、流暢さに注意を向ける</li> <li>・録音作業を通じ、韓国語がセリフとして適切かどうか評価する</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画『ラジオの時間』の鑑賞を通じ、ラジオドラマ製作にさまざまな要素があることを知る(D-1,D-2)</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・moodleを使用し、時空を超えた協同学習の必要性の理解</li> <li>・音声編集ソフトの使用(音声ファイルの取り扱い)</li> </ul>
できる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国語ラジオドラマの再現を行いセリフらしい発話を試みる</li> <li>・録音作業を通じ、韓国語がセリフとして適切かどうか評価する</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映画『ラジオの時間』からラジオドラマ製作の各要素の意義と従業性について分析する。</li> <li>・上記の各要素をシナリオ作りに反映させる</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声編集ソフトの使用(音声ファイルの取り扱い)</li> <li>・断続的なシナリオの改善</li> <li>・moodle上での、時空を超えた協同学習の実践</li> </ul>
つながる	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談しながら1つのシナリオを作り上げる</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シナリオに対する教員や韓国語母語話者によるチェックとその受容</li> </ul>	<p>シナリオ中の該当する箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の作品鑑賞と、感想の表明、相互評価</li> </ul>
三連携	<p>シナリオ中の該当する箇所 (関心・意欲・態度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に時間管理や役割分担を決めてプロジェクトを完遂させること。</li> </ul>	
	<p>シナリオ中の該当する箇所 (既習内容・経験、他教科の内容とつながる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ(音声編集)</li> <li>・演劇(演技)</li> </ul>	
	<p>シナリオ中の該当する箇所 (教室外の人・モノ・情報とつながる)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる作業の場は教室外であること(教室はそのための打ち合わせや教員からのコメントを受ける場)</li> <li>・韓国語母語話者の助けを得ること</li> <li>・完成作品を1～2年生に聞かせる</li> </ul>	